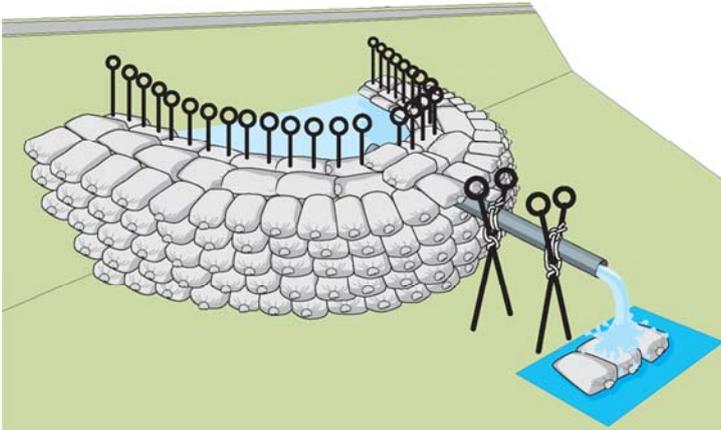


(3) ① 月の輪工



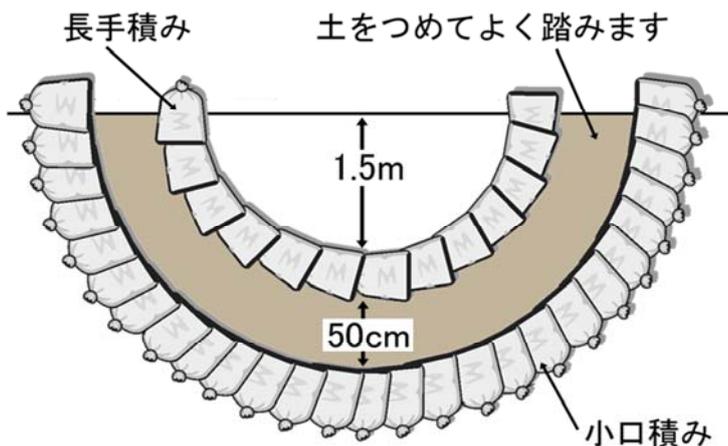
■目的

増水中に堤防の居住側法面より水の吹き出しが確認された場合に、漏水の噴出口に土のうを積んで水を溜め、河川水位と漏水口の水位差を縮小することで、水の噴出の勢いを抑え、漏水口の拡大を防ぎ堤防の決壊を防止する工法です。

■作業手順

①土のうの積み方

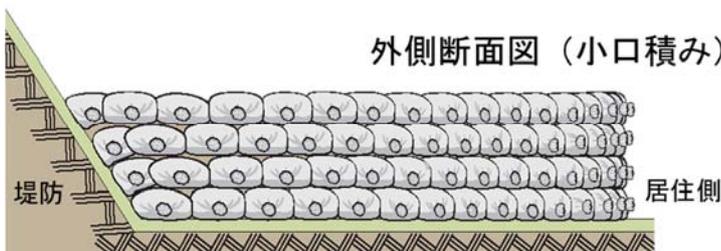
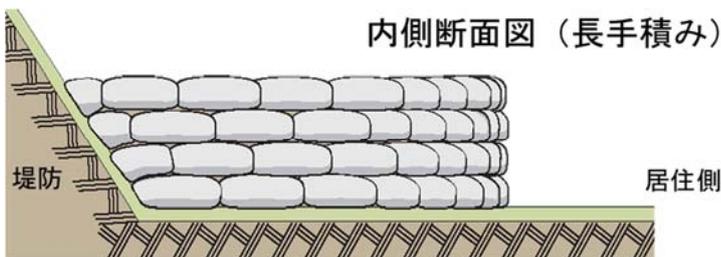
土のうは漏水口を中心に半径1.5mの半円径の輪を描きます。土のうは5段積みます。



②土のう積み、土入れ

1～4段目の土のうの積み方は、内側土のうは長手積みで上流側から積んでいきます。

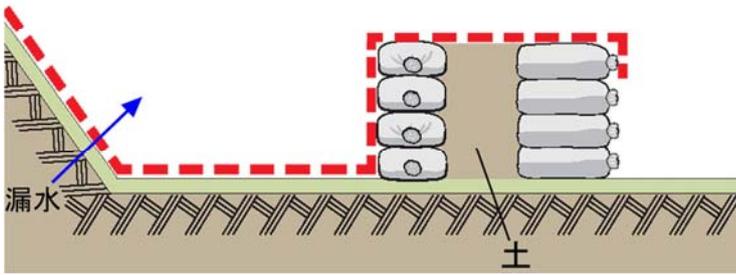
外側土のうは小口積みで内側土のうから50cm程度離して並べます。



土のう積みと同時進行で土のうの継ぎ目には土をつめて、踏み固めます。また、内側と外側の土のうの間に土をつめて、十分に踏み固めます。

堤防

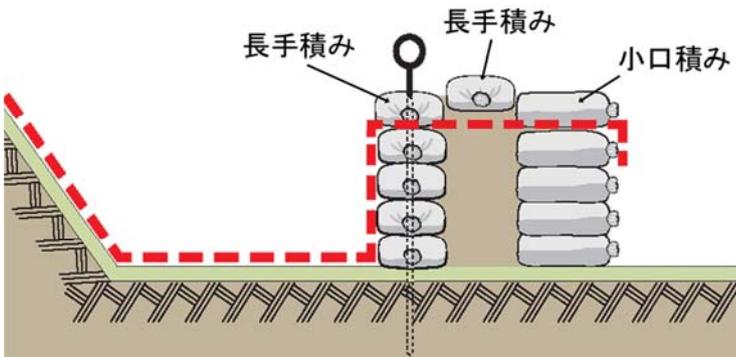
居住側



③ビニールシート敷設

4段目を積んだ後に、漏水を防ぐためのビニールシートを張ります。

シートを張ったあとにパイプの取り付けを行います。

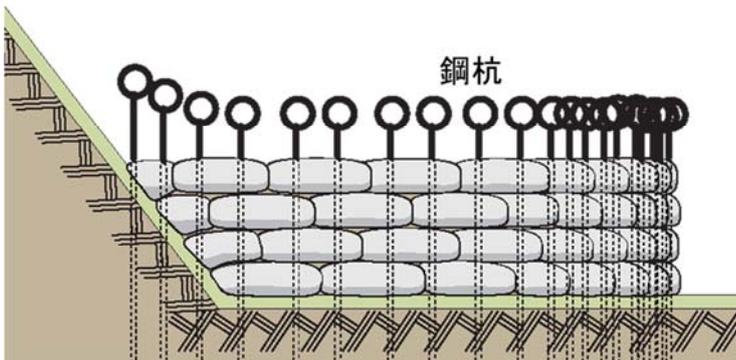


④土のう積み完了

5段目を積んだあとに6段目の土のうを、中詰め土の上に、長手積みで並べます。

※赤点線はビニールシート

施工時には、漏水箇所にかッターなどで穴をあけてください。

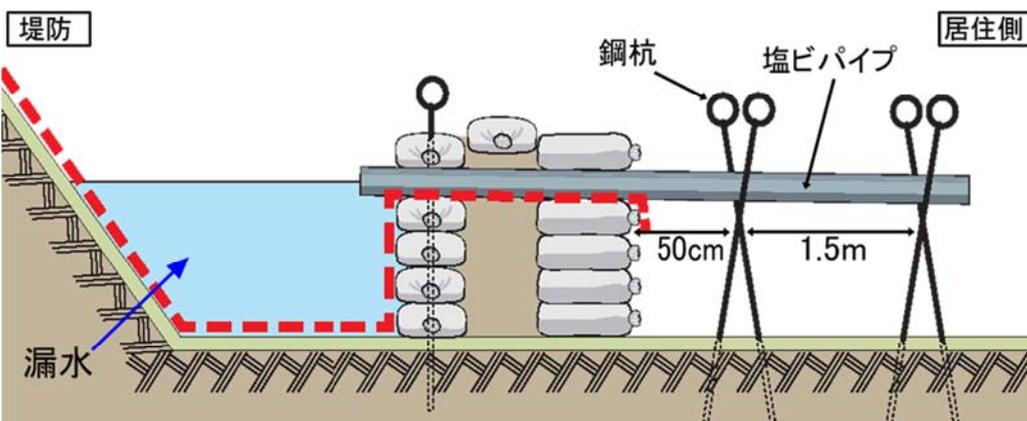


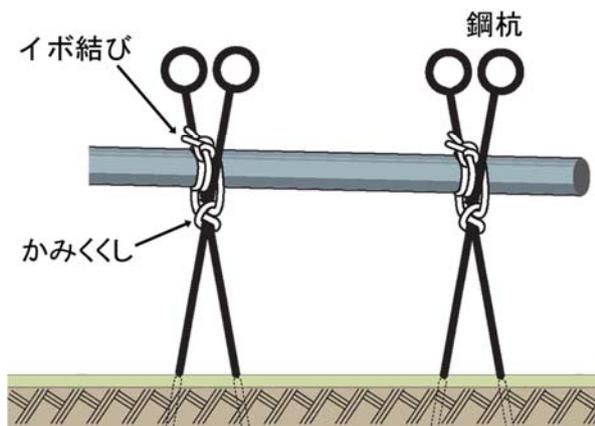
⑤控え杭

5段目を積んだあとに、内側土のうに杭を打ちます。鋼杭は、土のう1袋に2本の割合で打ち込みます。

⑥パイプの取り付け

あふれ出る水を流すために、塩ビパイプを4段目の土のうの上に取り付けます。その上に土のうを乗せ、塩ビパイプが動かないように固定します。

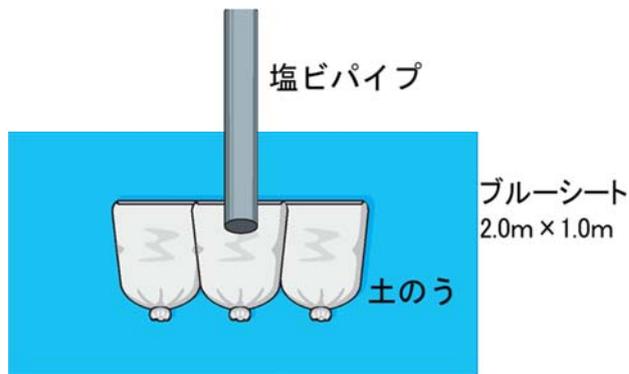




⑦鋼杭の打ち込み

このパイプを鋼杭（又は木杭）で支えます。

鋼杭とパイプの結束は、まず鋼杭の交差箇所にかみくしを行います。ロープはパイプを固定するために上下に回し、最後はイボ結びをしてください。



⑧水落下部の施工

パイプの水がおちる場所にブルーシート（PPシート）を1枚敷きます。その上に土のうを3袋、パイプと平行にして並べます。



完成図

●月の輸工数量表

人員	資 材				器 具		
	名 称	形 状 寸 法	単 位	員 数	名 称	単 位	員 数
20人	土のう		袋	350	一輪車	台	4
	鋼杭	φ16mm×1.2m	本	60	スコップ	丁	8
	ブルーシート#2000	2.0m×1.0m	枚	1	掛矢	丁	2
	ロープ	φ6mm×3.5m	本	2	大型ハンマー	丁	2
	塩ビパイプ	φ150mm×4m VU管	本	1			
	軟質塩化ビニールシート	5.0m×5.0m t=0.5mm	枚	1			
	土砂	(土のう用及び中詰め土)	m ³	5.5			